

科目名	英語 Communication I	必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	教科書： Revised ELEMENT English Communication I 単語集：Wordbox 英単語・熟語 読解問題集：Cutting Edge Green ほか副読本	
学年	1 学年	単位数	3	教科担当	大澤・長谷川・小森・河野

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学 期	5 月末まで Element Lesson 1, Lesson 2 Wordbox Essential Unit 1-20 Cutting Edge Unit 1, Unit 2 The Selfish Giant (Oscar Wilde)	・英語の基礎的な 4 技能の伸長と、支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、分析力、表現力を高める。
	期末考査まで Element Lesson 3, Lesson 4 Wordbox Essential Unit 21-45 Cutting Edge Unit 3, Unit 4 The Nightingale and the Rose, The Happy Prince (Oscar Wilde)	・英語の基礎的な 4 技能の伸長と、支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、分析力、表現力を高める。
2 学 期	中間考査まで Element Lesson 5, Further Reading 1 Wordbox Essential Unit 101-130 Cutting Edge Unit 10, Unit 11 副読本	・英語の基礎的な 4 技能の伸長と、支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、分析力、表現力を高める。
	期末考査まで Element Lesson 6, Wordbox Essential Unit 131-150 Cutting Edge Unit 12, Unit 14, Unit 16 副読本	・英語の基礎的な 4 技能の伸長と、支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、分析力、表現力を高める。
3 学 期	学年末考査まで Element Lesson 7, Lesson 8 Wordbox Advanced Stage 1 (Unit 1-25) Cutting Edge Unit 17, Unit 18 副読本	教科書以外の教材を使い、読解力をさらに深める。一年間で学んだ内容を使って英語で表現することができるまでマスターする。

学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）  
英語力の基礎基本を確立させることが 1 年間の目標。そのためには、予習・復習の徹底と小テストに向けたしっかりとした準備、課題等の提出等、毎日の積み重ねこそが必要不可欠。

普通科 英語コミュニケーションⅠのルーブリック

評価の観点			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養			知識・技能、情報活用力	論理的思考力・情報発信力	協働力、粘り強く取り組む力
評価規準			基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、適切に表現・発信ができる。	グループワークやペアワークなどあらゆる場面で、多様な価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動をすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。
A	立高生として目指すべき目標	レベル4	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、適切に表現・発信ができる。	グループワークやペアワークなどあらゆる場面で、多様な価値観を持つ人と積極的に議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動においてリードすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことがしばしばできる。
B	立高生として求める標準	レベル3	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を処理し、活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾のないプロセスを立てることができる。その内容について、場面に合わせて発信ができる。	グループワークやペアワークなどの場面で、多様な価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動を積極的にすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。また、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。
		レベル2	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を整理することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向かうため、矛盾のない筋道を立てることができる。その内容について、場面に合わせて表現ができる。	グループワークやペアワークなどの場面で、さまざまな価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解し、時々行動に移すことができる。また、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことが時々できる。
C	立高生として初歩的段階	レベル1	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てる方法を理解している。その内容について、場面に合わせて表現する方法を理解している。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどの場面で、さまざまな価値観を持つひとと議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解している。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解している。
評価方法			定期考査・行動観察・単語テスト・提出物	定期考査・ワークシート・行動観察	定期考査・単語テスト・提出物・行動観察
観点別評価			レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載

科目名	論理・表現 I		必履修	使用教材	Crown, Logic and Expression I (三省堂) ブレイクスルー 総合英語 (美誠社) ブレイクスルー 英文法 36 章 改訂二 版、同 ワークブック Focus on Listening Standard Ver. 2
学年 学級	1 年・普通科	単位数	2	教科 担当	大澤・長谷川・和田・小森

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期	Crown : Lesson 1:スピーチ (人生・ 生き方)、Lesson 2:プレゼンテー ション (食生活と健康)、Lesson 3: ライティング (日本文化) Breakthrough, Lesson 5-14 基本時制、進行形、完了形、助動 詞、受動態 Focus on Listening, Training 1-8	○自分についてのスピーチを完成させ、聞き手にわかりやすく伝えるこ とを意識しながら話す。 ○聞き手の興味を引き、理解を深める工夫をし、発表する。 ○自国の文化について情報を集め、論理の構成や展開を工夫して、論理 に矛盾や飛躍がないか、理由や根拠が適切に留意しながら書く。 ○環境問題について、情報を集め、考えをまとめ、意見を交換する。論 理の構成や展開を工夫して話し、伝え合う。 ○左記の文法事項について、ルールを理解し、問題演習を行い、定着を 図る。
2 学期	Crown : Lesson 4:ディスカッショ ン (環境問題)、Lesson 5:スピー チ (文学・読書) Lesson 6:プレゼ ンテーション (テクノロジー・発 明) Beakthrough, Lesson 15-27 Additional 1-5 不定詞、動名詞、分詞、関係詞 Focus on Listening, Training 9-16	○データや情報を収集し、肯定・否定の立場から、自分の立場の意見や 考えに、より妥当性や優位性があることを述べる。一つの題材について、 多様な観点から考察する力を身に付ける。 ○スピーチを完成させ、聞き手にわかりやすく伝えることをより意識し ながら話す。 ○聞き手の興味を引き、理解をより深める工夫をし、発表する。日本文 化について海外の人の興味を引くような英文にまとめる。 ○論理の構成や展開を工夫して、矛盾や飛躍がないか、理由や根拠が適 切に留意しながら書く。 ○左記の文法事項について、ルールを理解し、問題演習を行い、定着を 図る。
3 学期	Crown : Lesson 7:ライティング (都 市・観光)、Lesson 8:ディベート (ボランティア) Breakthrough, Lesson 28-36 Additional 6-10 比較、仮定法、否定、話法 Focus on Listening, Training 17-20	○理想の生活について、情報を集め、考えをまとめ、意見を交換する。 論理の構成や展開を工夫して話し、伝え合う。 ○データや情報を収集し、肯定・否定の立場から、自分の立場の意見や 考えに、より妥当性や優位性があることを述べる。これまでの活動で身 に付けた、多様な観点から考察する力を生かし、グループで協力し意見 をまとめる。 ○左記の文法事項について、ルールを理解し、問題演習を行い、定着を 図る。

#### 学習のポイント (授業中や家庭学習の方法)

- ・ 英語という言葉が持つ特徴や文法ルールに関する事項を確認し、積極的にアウトプットする態度を養う。
- ・ 情報・データ等を収集、分析しながら、自分の考えを英語でまとめる姿勢を身に付ける。
- ・ 単なる知識の蓄積に終わらせず、自分の意見を英語で表現したり、伝え合ったりする態度を養う。

1年普通科 論理表現Ⅰのルーブリック評価			
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養	知識・技能、情報活用力	情報発信力	協働力
評価規準	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開及び表現を工夫して話し、伝え合うために必要となる表現を理解している。 日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを論理の構成や展開に工夫をして話し、効果的に互いに伝え合う技能を身に付けている。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を工夫して話し、伝え合っている。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ディベート、ディスカッション等の活動を通して、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話し、伝え合おうとしている。
A	立高生として目指す目標	レベル4	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開及び表現を工夫して話し、伝え合うために必要となる表現を理解している。日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを論理の構成や展開に工夫をして話し、効果的に互いに伝え合う技能を身に付け、応用できる。
B	立高生として求める標準	レベル3	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開及び表現を工夫して話し、伝え合うために必要となる表現を理解している。日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを論理の構成や展開に工夫をして話し、効果的に互いに伝え合う技能を身に付け、活用できる。
		レベル2	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開及び表現を工夫して話し、伝え合うために必要となる表現を理解している。日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを論理の構成や展開に工夫をして話し、効果的に互いに伝え合う技能をある程度身に付けている。
C	立高生として初歩的段階	レベル1	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開及び表現を工夫して話し、伝え合うために必要となる表現を理解している。日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを論理の構成や展開に工夫をして話し、効果的に互いに伝え合う技能を理解している。
評価方法	定期考査・行動観察	定期考査・ワークシート・行動観察	定期考査・ワークシート・ワークブック・行動観察
観点別評価	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載

科目名	SS コミュニケーション I		必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	SS Communication I Booklet Topics for Global Citizenship (金星堂) Writing Method Standard (啓林館)
学年 学級	1年 普通科	単位数	1	教科 担当	大澤・長谷川・月森・大野・藤田・小森・ 河野・和田・D'Andre・Mary

期 間	授 業 計 画	到 達 目 標
1 学期	① 自己紹介(Show and Tell) ② Topics for Global Citizenship Lesson 1 “ Biodiversity “ 生物多様性 ③ Essay Writing 1 英文エッセイの書き方 1 ④ Debate Practice 1 ディベート導入	① 自分自身について、順序立てた説明が英語でできる。 ② 生物多様性についての論文を読み、内容を理解し、自らの言葉で説明できる。同トピックについて別の簡単な論文を読み、どちらの意見を支持するか、その根拠は何かを話し合う活動に積極的に参加しようとする。 ③ 英文エッセイの基本を理解すると共に、複数のエッセイを読み、良いエッセイとは何かを話し合う活動に積極的参加する。生物多様性についてのエッセイを英文エッセイのストラクチャーに基づき書くことができる。 ④ ディベートの基本を理解し、コンストラクティブスピーチを書くことができる。複数のコンストラクティブスピーチを聞き、理由と根拠の強弱が理解できる。
2 学期	① Topics for Global Citizenship Lesson 4 “ Global Warming “ 地球温暖化 ② Debate Practice 2 クラスディベート 地球温暖化の解決と経済発展 ③ Essay Writing 2 英文エッセイの書き方 2	① 地球温暖化についての論文を読み、内容を理解し、自らの言葉で説明することができる。同トピックについて別の簡単な論文を読み、どちらの意見を支持するか、その根拠は何かを話し合う活動に積極的に参加する。 ② 地球温暖化と経済発展という2つの論点に関するディベートを行う。ディベートに必要な論理的説明、リサーチ、ノートテキングのメソッドを理解し、積極的にディベートに参加する。 ③ 1学期に学んだエッセイのストラクチャーに基づき、200wordsのエッセイを書くことができる。 ④ 自分自身の経験について、順序だてて英語で説明をすることができる。また聞き手に興味を持ってもらえるような話し方ができる。
3 学期	① Topics for Global Citizenship Lesson 3 “Water “ 世界の水問題 ② Group Presentation プレゼンテーション 2	① 世界の水問題についての論文を読み、内容を理解し、自らの言葉で説明することができる。同トピックについて別の簡単な論文を読み、どちらの意見を支持するか、その根拠は何かを話し合う活動に積極的に参加し、エビデンスをもとに自分の意見を発表できる。 ② 国内外の水問題についてのリサーチを行い、その内容をまとめたプレゼンテーションに積極的に参加することができる。

学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）

- ・自らが手を挙げて、積極的に意見を述べたり、議論に参加したりする Participation の姿勢を養う。
- ・難易度の高いオーセンティックな英文に対しても、辞書を参照したり、リサーチを行うことで、読み進めて理解しようとする態度を養う。
- ・自分の意見を支える根拠を構築するために、複数の文献を読み比べたりリサーチを行ったりするクリティカルマインドを培う。

普通科 SS コミュニケーション I のルーブリック

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養		情報活用力・英語力	論理的思考力・情報発信力	協働力
評価規準		周りの人々と英語でコミュニケーションをとりながら、複数の英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な問題について、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、文章・ポスター・動画等を有効に使用し、発信できる。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどあらゆる場面で、さまざまな価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動をすることができる。
A	立高生として目指すべき目標	レベル4 周りの人々とスムーズに英語でコミュニケーションをとりながら、複数の英語文献を適切な時間内で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な問題について、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、聞き手が興味を持つように、文章・ポスター・動画等を有効に使用し、発信できる。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどあらゆる場面で、さまざまな価値観を持つ人と積極的に議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動においてリードすることができる。
B	立高生として求める標準	レベル3 周りの人々と英語でコミュニケーションをとることに問題がなく、複数の英語文献をゆっくりではあるが読み、その中から、必要な情報を適切に処理し、活用することができる。	複雑な問題について、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾のないプロセスを立てることができる。その内容について、文章・ポスター・動画等を使用し、発信できる。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどの場面で、さまざまな価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動を積極的にすることができる。
		レベル2 周りの人々と英語でコミュニケーションを概ね問題なくとることができ、難易度の高い英文には時間を要するものの理解することができる。その中から、情報を目的に応じて整理することができる。	複雑な問題について、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けてのプロセスを立てようとしている。その内容について、文章・ポスター・動画等に合わせて表現できる。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどの場面で、さまざまな価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解し、時々行動に移すことができる。
C	立高生として初歩的段階	レベル1 周りの人々と英語でコミュニケーションが時々でき、英文を読み書きするのに時間がかかる。その中から、情報を収集することはできる。	複雑な問題について、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けてのプロセスを理解している。その内容について、文章・ポスター・動画等に合わせて表現できる方法を理解している。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどの場面で、さまざまな価値観を持つひとと議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解している。
評価方法		エッセイライティング・プレゼンテーション・行動観察	ディスカッション・ディベート・エッセイライティング・プレゼンテーション・行動観察	クラスパーティシペーション・行動観察
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載

科目名	英語 Communication II		必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	教科書 ELEMENT English Communication ② 単語集 Wordbox 英単語・熟語 Advanced 読解問題集 Cutting Edge Blue スプリーム英語構文 109 (数研出版) 他、副読本
学年	2 学年普通科	単位数	3	教科担当	木村

期 間		授 業 計 画	到達目標
1 学 期	5 月末まで	ELEMENT II Lesson 1 Cutting Edge Blue Unit 3, 4 WORDBOX ADVANCED Unit 51-75 スプリーム英語構文 109 第 1 章、第 2 章 洋書教材 Stories from Shakespeare	・英語の基礎的な 4 技能の伸長と、支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、分析力、表現力を高める。
	期末考査まで	ELEMENT II Lesson 2, 3 Cutting Edge Blue Unit 5, 6 WORDBOX ADVANCED Unit 76-100 スプリーム英語構文 109 第 3 章、第 4 章 洋書教材 Stories from Shakespeare	・英語の基礎的な 4 技能の伸長と、支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、分析力、表現力を高める。
2 学 期	中間考査まで	ELEMENT II Lesson 4, 5 Cutting Edge Blue Unit 11, 12 WORDBOX ADVANCED Unit 126-150 スプリーム英語構文 109 第 7 章、第 8 章 洋書教材 A Christmas Carol	・英語の基礎的な 4 技能の伸長と、支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、分析力、表現力を高める。
	期末考査まで	ELEMENT II Lesson 6, 7 Cutting Edge Blue Unit 13, 14 WORDBOX ADVANCED Unit 151-175 スプリーム英語構文 109 第 9 章、第 10 章 洋書多読教材 A Christmas Carol	・英語の基礎的な 4 技能の伸長と、支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、分析力、表現力を高める。
3 学 期	学年末考査まで	ELEMENT II Lesson 8 Cutting Edge Blue Unit 17, 18 スプリーム英語構文 109 第 13 章、第 14 章 洋書教材 未定	教科書以外の教材を使い、読解力をさらに深める。一年間で学んだ内容を使って英語で表現することができるまでマスターする。

学習のポイント (授業中や家庭学習の方法)

英語力の基礎基本を確立させることが 1 年間の目標。そのためには、予習・復習の徹底と小テストに向けたしっかりとした準備、課題等の提出等、毎日の積み重ねこそが必要不可欠。

普通科 コミュニケーション英語Ⅰのルーブリック

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養		知識・技能、情報活用力	論理的思考力・情報発信力	協働力、粘り強く取り組む力
評価規準		基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、適切に表現・発信ができる。	グループワークやペアワークなどあらゆる場面で、多様な価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動をすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。
A	立高生として目指すべき目標	レベル4 基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、適切に表現・発信ができる。	グループワークやペアワークなどあらゆる場面で、多様な価値観を持つ人と積極的に議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動においてリードすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことがしばしばできる。
B	立高生として求める標準	レベル3 基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を処理し、活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾のないプロセスを立てることができる。その内容について、場面に合わせて発信ができる。	グループワークやペアワークなどの場面で、多様な価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動を積極的にすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。また、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。
		レベル2 基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を整理することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向かうため、矛盾のない筋道を立てることができる。その内容について、場面に合わせて表現ができる。	グループワークやペアワークなどの場面で、さまざまな価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解し、時々行動に移すことができる。また、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことが時々できる。
C	立高生として初歩的段階	レベル1 基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てる方法を理解している。その内容について、場面に合わせて表現する方法を理解している。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどの場面で、さまざまな価値観を持つひとと議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解している。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解している。
評価方法		定期考査・行動観察・単語テスト・提出物	定期考査・ワークシート・行動観察	定期考査・単語テスト・提出物・行動観察
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載

科目名	論理・表現Ⅱ		必修 学校必修 選択必修	使用 教材	Crown, Logic and Expression Ⅱ (三省堂) Focus on Listening Pre-Advanced ver. 2』 (エミル出版) Breakthrough Upgraded Practical Stage 改訂二版 新装版』(美誠社) Vintage 英文法・語法 4th Edition (い いずな書店)
学年 学級	2年・普通科	単位数	2	教科 担当	山崎・木村・大野・中島

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期	Crown : Lesson 1～4 Stedy Steps on Writing 1-4 Breakthrough Practical Stage 1-6 Focus on Listening 1～8	○左記の文法事項について、ルールを理解し、問題演習を行い、定着を図る。 ○1年次に習得した表現や文法事項を用いて、和文から英訳をする演習を重ね、正確な英文を書くことができる力を育成する。 ○対話文、説明文、情報聞き取りなど、様々な素材の音声を聞きとる練習を行い、リスニング力の育成を図る。
2 学期	Crown : Lesson 5～8 Stedy Steps on Writing 5-11 Breakthrough Practical Stage 7-15 Focus on Listening 9～16	○パラグラフ・ライティングでは、論理の構成や展開を工夫して、矛盾や飛躍がないか、理由や根拠が適切に留意しながら書く。 ○左記の文法事項について、ルールを理解し、問題演習を行い、定着を図る。 ○国公立大学の二次試験を見据え、記述力を育成する。 ○対話文、説明文、情報聞き取りなど、様々な素材の音声を聞きとる練習を行い、リスニング力の向上を図る。
3 学期	Crown : Lesson 9～10 Stedy Steps on Writing 12-15 Breakthrough Practical Stage 16 Focus on Listening 17～20	○パラグラフ・ライティングでは、論理の構成や展開を工夫して、矛盾や飛躍がないか、理由や根拠が適切に留意しながら書く。 ○左記の文法事項について、ルールを理解し、問題演習を行い、定着を図る。 ○国公立大学の二次試験を見据え、記述力を育成する。 ○対話文、説明文、情報聞き取りなど、様々な素材の音声を聞きとる練習を行い、リスニング力の向上を図る。

#### 学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）

- ・英語という言語が持つ特徴や文法ルールに関する事項を確認し、積極的にアウトプットする態度を養う。
- ・情報・データ等を収集、分析しながら、自分の考えを英語でまとめる姿勢を身に付ける。
- ・単なる知識の蓄積に終わらせず、自分の意見を英語で表現したり、伝え合ったりする態度を養う。

ループリック評価					
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養	知識・技能、情報活用力	情報発信力	協働力		
評価規準	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫し、伝え合うために必要となる表現を理解している。 文法に気を付けながら、自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、効果的に表現する技能を身に付けている。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、伝え合っている。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、パラグラフ・ライティング等において、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、伝え合おうとしている。		
A	立高生として目指すべき目標	レベル4	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫し、伝え合うために必要となる表現を理解し、活用できる。 文法に気を付けながら、自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、効果的に表現する技能を身に付け、応用できる。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成等を工夫し展開する。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを分析しながら、パラグラフ・ライティング等において、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、伝え合おうとしている。
B	立高生として求める標準	レベル3	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫し、伝え合うために必要となる表現を理解している。 文法に気を付けながら、自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、効果的に表現する技能を身に付けている。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を、興味を引くように工夫して述べている。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを分析しながら、パラグラフ・ライティング等において、意見や主張などを論理の構成を工夫して、伝え合おうとしている。
		レベル2	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫し、伝え合うために必要となる表現を理解している。 文法に気を付けながら、自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、効果的に表現する技能をある程度身に付けている。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を工夫して再構成して述べている。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを分析しながら、パラグラフ・ライティング等において、意見や主張などを論理の構成や展開をある程度工夫して、伝え合おうとしている。
C	立高生として初歩的段階	レベル1	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫し、伝え合うために必要となる表現を理解している。 文法に気を付けながら、自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、効果的な表現方法を理解している。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を工夫して説明している。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを分析しながら、パラグラフ・ライティング等において、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝えることの必要性を理解している。
評価方法		定期考査・リスニングテスト・行動観察	定期考査・ワークシート・行動観察	定期考査・ワークシート・小テスト・行動観察	
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	

科目名	SS コミュニケーション		必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	Topics for Global Citizenship (金星堂) Writing Method Advanced (啓林館)
学年 学級	2年 普通科	単位数	1	教科 担当	山崎・木村・加藤・大澤・藤田・小森・ 和田・中島

期間	授 業 計 画	到達目標
1 学期	① 自己紹介 (Story Telling) ② Topics for Global Citizenship Lesson5 “Poverty” 貧困問題 ③ Essay Writing 3 英文エッセイの書き方1 ④ Debate Practice 3 クラスディベート “Is Foreign Aid effective in helping poor countries?”	① 自分自身の経験について、順序だてて英語で説明をすることができる。また聞き手に興味を持ってもらえるような話し方ができる。 ② 貧困問題についての論文を読み、内容を理解し、自らの言葉で説明できる。同トピックについて別の簡単な論文を読み、どちらの意見を支持するか、その根拠は何かを話し合う活動に積極的に参加しようとする。 ③ 英文エッセイの基本を理解すると共に、複数のエッセイを読み、良いエッセイとは何かを話し合う活動に積極的に参加する。貧困問題についてのエッセイを英文エッセイのストラクチャーに基づき書くことができる。 ④ 途上国支援の功罪に関するディベートを行う。ディベートに必要な論理的説明、リサーチ、ノートテキングのメソッドを理解し、積極的にディベートに参加する。
2 学期	① Topics for Global Citizenship  Child Labor / Fair Trade /  Vegertarianism / Ethical  Business / Free Trade ② Debate Practice 4  クラスディベート ③ Abstract Writing	① 国際社会におけるさまざまな社会問題に関する論文を読み、内容を理解し、自らの言葉で説明することができる。同トピックについて別の簡単な論文を読み、どちらの意見を支持するか、その根拠は何かを話し合う活動に積極的に参加する。 ② クラスディベートを行う。ディベートに必要な論理的説明、リサーチ、ノートテキングのメソッドを理解し、積極的にディベートに参加する。 ③ 自分自身の課題研究について、Purpose / Problem/ Methods /Results/ Conclusion の5 Steps に、英文でまとめることができる。
3 学期	①英文要綱作成	① a) Introduction / Method b) Result / Consideration c) Conclusion / Reference / Abstract の順で、シンプルで、適切な英文で課題研究をまとめることができる。

学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）

- ・自らが手を挙げて、積極的に意見を述べたり、議論に参加したりする Participation の姿勢を養う。
- ・難易度の高いオーセンティックな英文に対しても、辞書を参照したり、リサーチを行ったりすることで、読み進めて理解しようとする態度を養う。
- ・自分の意見を支える根拠を構築するために、複数の文献を読み比べたりリサーチを行ったりするクリティカルマインドを培う。
- ・課題研究の研究成果を、英文要綱の形にまとめる。

普通科 SS コミュニケーションのルーブリック

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養		情報活用力・英語力	論理的思考力・情報発信力	協働力
評価規準		周りの人々と英語でコミュニケーションをとりながら、複数の英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な問題について、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、文章・ポスター・動画等を有効に使用し、発信できる。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどあらゆる場面で、さまざまな価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動をすることができる。
A	立高生として目指すべき目標 レベル4	周りの人々とスムーズに英語でコミュニケーションをとりながら、複数の英語文献を適切な時間内で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な問題について、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、聞き手が興味を持つように、文章・ポスター・動画等を有効に使用し、発信できる。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどあらゆる場面で、さまざまな価値観を持つ人と積極的に議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動においてリードすることができる。
B	立高生として求める標準 レベル3	周りの人々と英語でコミュニケーションをとることに問題がなく、複数の英語文献をゆっくりではあるが読み、その中から、必要な情報を適切に処理し、活用することができる。	複雑な問題について、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾のないプロセスを立てることができる。その内容について、文章・ポスター・動画等を使用し、発信できる。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどの場面で、さまざまな価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動を積極的にすることができる。
	レベル2	周りの人々と英語でコミュニケーションを概ね問題なくとることができ、難易度の高い英文には時間を要するものの理解することができる。その中から、情報を目的に応じて整理することができる。	複雑な問題について、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けてのプロセスを立てようとしている。その内容について、文章・ポスター・動画等に合わせて表現できる。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどの場面で、さまざまな価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解し、時々行動に移すことができる。
C	立高生として初歩的段階 レベル1	周りの人々と英語でコミュニケーションが時々でき、英文を読み書きするのに時間がかかる。その中から、情報を収集することはできる。	複雑な問題について、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けてのプロセスを理解している。その内容について、文章・ポスター・動画等に合わせて表現できる方法を理解している。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどの場面で、さまざまな価値観を持つひとと議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解している。
評価方法		エッセイライティング・アブストラクトライティング・英文要綱作成・プレゼンテーション・行動観察	ディスカッション・ディベート・エッセイライティング・プレゼンテーション・行動観察	クラスパーティシペーション・行動観察
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載

科目名	英語 Communication III	必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	教科書 ELEMENT English Communication III 読解問題集 Cutting Edge Orange 共通テストリスニング分野別 10min. リーディング・ホープ ver.2 共通テストリー ディング対策問題集 スプリーム英語構文 109 7訂版 及び 活 用ワーク英文解釈演習	
学年	3 学年	単位数	4	教科担当	市川、加藤、月森、松村

期 間	授 業 計 画	到達目標	
1 学 期	中間考査まで (約 18 時間)	Element III Lesson 1-2 Cutting Edge Orange Chapter 2-5 スプリーム英語構文 第 1 回～4 回 共通テストリスニング 第 10 回～第 14 回 Reading Hope 第 1 回～第 7 回	・英語の理解能力・表現能力、またその支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢や、言語文化に対する興味関心を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、教養を高める。
	期末考査まで (約 16 時間)	Element III Lesson 3-4 Cutting Edge Orange Chapter 6-9 スプリーム英語構文 第 5 回～8 回 共通テストリスニング 第 15 回～第 20 回 * 期末後、Element III Lesson 5,6 Reading Hope 第 15 回～第 16 回 共通テストリスニング演習 第 21 回～第 22 回 スプリーム英語構文 第 9 回	・英語の理解能力・表現能力、またその支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢や、言語文化に対する興味関心を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、教養を高める。
2 学 期	中間考査まで (約 20 時間)	Element III Lesson 7, 8 Cutting Edge Orange Chapter 10-13 Reading Hope 第 17 回～第 23 回 スプリーム英語構文 第 10 回～第 14 回	・英語の理解能力・表現能力、またその支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢や、言語文化に対する興味関心を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、教養を高める。
	期末考査まで (約 23 時間)	Element III Lesson 9, 10 Cutting Edge Orange Chapter 14 - 16 Reading Hope 第 24 回～第 28 回 スプリーム英語構文 第 15 回～第 18 回	・英語の理解能力・表現能力、またその支えとなる語彙・文法の力を身につける。 ・コミュニケーションに対する積極的な姿勢や、言語文化に対する興味関心を養い、英文で扱われているテーマへの理解を深め、教養を高める。

学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）  
英語力の基礎基本を確立させることが 1 年間の目標。そのためには、予習・復習の徹底と小テストに向けたしっかりとした準備、課題等の提出等、毎日の積み重ねこそが必要不可欠。

創造理数科 英語コミュニケーションⅢのルーブリック

評価の観点			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養			知識・技能、情報活用力	論理的思考力・情報発信力	協働力、粘り強く取り組む力
評価規準			基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、適切に表現・発信ができる。	グループワークやペアワークなどあらゆる場面で、多様な価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動をすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。
A	立高生として目指すべき目標	レベル4	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集・活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てることができる。その内容について、適切に表現・発信ができる。	グループワークやペアワークなどあらゆる場面で、多様な価値観を持つ人と積極的に議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動においてリードすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことがしばしばできる。
B	立高生として求める標準	レベル3	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を処理し、活用することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾のないプロセスを立てることができる。その内容について、場面に合わせて発信ができる。	グループワークやペアワークなどの場面で、多様な価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動を積極的にすることができる。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。また、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことができる。
		レベル2	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を整理することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向かうため、矛盾のない筋道を立てることができる。その内容について、場面に合わせて表現ができる。	グループワークやペアワークなどの場面で、さまざまな価値観を持つ人と議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解し、時々行動に移すことができる。また、粘り強く取り組む大切さを理解し、自らの行動を振り返り、改善していくことが時々できる。
C	立高生として初歩的段階	レベル1	基礎・基本的な知識及び技能を系統的かつ高度に身に付け、英語文献を適切な時間で読み、その中から、課題や目的に応じて必要な情報を収集することができる。	複雑な状況を分析し、解決に向かうため、複数の文献やリサーチを通じて解決に向けて矛盾や飛躍のないプロセスを立てる方法を理解している。その内容について、場面に合わせて表現する方法を理解している。	グループワークやペアワーク、クラスディスカッションなどの場面で、さまざまな価値観を持つひとと議論し、協力しながら、その場面に求められる解決策を導き出す行動の大切さを理解している。また、あきらめず、粘り強く取り組む大切さを理解している。
評価方法			定期考査・行動観察・単語テスト・提出物	定期考査・ワークシート・行動観察	定期考査・単語テスト・提出物・行動観察
観点別評価			レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載

科目名	論理・表現Ⅲ		必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	Crown, Logic and Expression Ⅲ (三省堂) Critical Point(エミル出版)、Write to the Point(数研出版)、Clover 英文法・語法ランダム演習(数研出版)Vintage(いいずな書店)
学年 学級	3年1組～7組	単位数	2	教科 担当	市川、加藤、大野、木村、月森、長谷川、藤田、山崎、河野、中島

期 間		授 業 計 画	到達目標
1 学 期	中間考査まで (約9時間)	Crown, Logica and Expression Ⅲ 1-2 課 Critical Point 1-4 課 Write to the Point 1-4 課 Vintage 英文法・語法問題 1~204 Clover 入試発展 Lesson 1- Lesson 4	・ 難関大学の入試に対応できる 文法語法の知識を習得し、それを 運用して自分の意図を英語で表現 できる発信力を身につける。 ・ コミュニケーションに対する 積極的な姿勢や、言語文化に対する 興味関心を養う。
	期末考査まで (約7時間)	Crown, Logica and Expression Ⅲ 3-4 課 Critical Point 5-8 課 Write to the Point 5-8 課 Vintage 英文法・語法問題 205~474 Clover 入試発展 Lesson 5 - Lesson 8	・ 難関大学の入試に対応できる 文法 語法の知識を習得し、それを運用して 自分の意図を英語で表現できる発信力 を身につける。 ・ コミュニケーションに対する 積極 的な姿勢や、言語文化に対する興味関 心を養う。
2 学 期	中間考査まで (約12時間)	Crown, Logica and Expression Ⅲ 5-6 課 Critical Point 9-14 課 Write to the Point 9-13 課 Vintage 英文法・語法問題 475~847 Clover 入試発展 Lesson 9 - Lesson 12	・ 難関大学の入試に対応できる 文法 語法の知識を習得し、それを運用して 自分の意図を英語で表現できる発信力 を身につける。 ・ コミュニケーションに対する 積極 的な姿勢や、言語文化に対する興味関 心を養う。
	期末考査まで (約9時間)	Crown, Logica and Expression Ⅲ 7-8 課 Critical Point 15-20 課 Write to the Point 14-18 課 Vintage 英文法・語法問題 848~1268 Clover 入試発展 Lesson13-Lesson 15	・ 難関大学の入試に対応できる 文法 語法の知識を習得し、それを運用して 自分の意図を英語で表現できる発信力 を身につける。 ・ コミュニケーションに対する 積極 的な姿勢や、言語文化に対する興味関 心を養う。
12月以降		大学二次試験対策講座、個別指導等	自分の言葉で主張を伝えることができ る英語力を養う。

#### 学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）

- ・ 予習→授業→復習を中心とした学習習慣を確実に身につける。
- ・ 英語という言語が持つ特徴や文法ルールに関する事項を確認し、積極的にアウトプットする態度を養う。
- ・ 情報・データ等を収集、分析しながら、自分の考えを英語でまとめる姿勢を身に付ける。
- ・ 場面、状況、意図に応じて適切な英語の語彙・構文・文法を用いることができるよう、その定着に努める。単なる知識の蓄積に終わらず、自分の意見を英語で表現するなど、使える英語表現のストックを意識的に増やすように努めること。
- ・ 自分が書いた英文を自己添削することはもちろん、模範解答の英語表現を覚え、単語の意味や発音も丁寧に確実に覚えていくこと。また、口頭でそれらを発表できるよう努める。
- ・ 世の中のことに関心や好奇心を持ち、それに対する自分の意見を積極的に英語で表現する態度を身につける。

ルーブリック評価					
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養	知識・技能、情報活用力	情報発信力	協働力		
評価規準	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫し、伝え合うために必要となる表現を理解している。 文法に気を付けながら、自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、効果的に表現する技能を身に付けている。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、伝え合っている。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、パラグラフ・ライティング等において、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、伝え合おうとしている。		
A	立高として目指す目標	レベル4	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫し、伝え合うために必要となる表現を理解し、活用できる。 文法に気を付けながら、自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、効果的に表現する技能を身に付け、応用できる。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成等を工夫し展開する。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを分析しながら、パラグラフ・ライティング等において、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、伝え合おうとしている。
B	立高として求める標準	レベル3	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫し、伝え合うために必要となる表現を理解している。 文法に気を付けながら、自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、効果的に表現する技能を身に付けている。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を、興味を引くように工夫して述べている。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを分析しながら、パラグラフ・ライティング等において、意見や主張などを論理の構成を工夫して、伝え合おうとしている。
		レベル2	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫し、伝え合うために必要となる表現を理解している。 文法に気を付けながら、自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、効果的に表現する技能をある程度身に付けている。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を工夫して再構成して述べている。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを分析しながら、パラグラフ・ライティング等において、意見や主張などを論理の構成や展開をある程度工夫して、伝え合おうとしている。
C	立高として初歩的段階	レベル1	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫し、伝え合うために必要となる表現を理解している。 文法に気を付けながら、自分の考えを論理の構成や展開を工夫し、効果的な表現方法を理解している。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を工夫して説明している。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを分析しながら、パラグラフ・ライティング等において、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝えることの必要性を理解している。
評価方法		定期考査・小テスト・行動観察	定期考査・ワークシート・行動観察	定期考査・ワークシート・小テスト・行動観察	
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	